

天気と雲のようす

4月15日午前10時

午前の天気

晴れ

・ 雲のようすを調べて、記録する。

↳量や形、動きなど。

・ 記録はスケッチ、写真、どちらでもよい。

・ 記録はいつも同じ場所で行う。

・ いつも同じ方向を向き、目印の建てものなども一緒に記録する。

・ 晴れとくもりの決め方

空全体の広さを10としたとき、雲のしめる量が0~8のときは『晴れ』 9~10のときは『くもり』。

・ 1日に午前と午後の2回記録をする。4~5日間、できる時に観察する。

・ 理科の教科書P6~10を参考にする。

雲の量

雲のようす

名前

例

No.

天気と雲のようす	4月15日	午前10時
午前の天気	晴れ	



西

雲の量 空の5割くらいに広がっていた。

雲のようす

形ははっきりとはわからなかったが、雲があつまっているところと、うすいところがあった。

動きは、ゆっくりと西のほうから東のほうへ動いていた。

くらい色の雲がいくつもあった。

名前 中村希美 (5mm方眼)